

**学部全体でのポジティブ行動支援（SWPBS）
「中学部行動目標設定表」を用いた教育実践**

1 中学部の現状

(中学部教育課程)

1) 肢体不自由部門 13名

- ・ 肢体不自由単一 1名
- ・ 肢体不自由重複 12名

2) 知的障がい部門 39名

- ・ 知的障がい単一 35名
- ・ 知的障がい重複 4名

3) 病弱部門 5名

- ・ 病弱単一 4名
- ・ 病弱重複 1名

4) 訪問部門 0名

- ・ 肢体不自由重複
- ・ 病弱重複

(令和5年度) 12学級 生徒数 57名
教員 34名

・ 4つの教育課程があり、障がい種も多い

・ 学部教員全員での共通理解や支援体制構築が大切



平成30年度より
ポジティブ行動支援 (SWPBS)
を実施

これまでの実践研究の流れ

平成30年度～ **登校支援**

- ・ **不登校生徒と担任を学部全体で支える支援体制作り**
- ・ **生徒が安心して自信をもって楽しく過ごせる学部作り**

グループで話し合いを進めたり支援方法を検討したりして、
共通理解を図るシステムの定着



学部全体（教員・生徒）で、共通の目標を掲げて実践に
取り組むことを決定



令和元年度 学部全教員で話し合いを行い、
【中学部版】 行動目標設定表 を作成

【中学部版】行動目標設定表

全教員で意見を出し、将来の自立に向けて生徒たちに身につけてほしいスキルをまとめ、行動目標設定表を作成（全障がい種対象）

3つの大切

- 「ルールを守ろう」
- 「すてきな伝え方をしよう」
- 「チャレンジしよう」

令和5年度のテーマ

→令和4年度末に3つのうちのどのテーマで実践研究に取り組むか全教員で話し合い、「**チャレンジしよう**」に決定

※令和2年度のテーマは「すてきな伝え方をしよう」、令和3年度のテーマは「チャレンジしよう」、令和4年度のテーマは「ルールを守ろう」

行動目標設定表

R2.4.15

	ルールを守ろう		すてきな伝え方をしよう		チャレンジしよう	
授業中	知的 病弱 肢体	・時間を守ろう (始まり・終わり・作業時間) ・決められた活動をしよう	知的 病弱 肢体	・「です」「ます」を使おう ・援助要求をしよう	知的 病弱 肢体	・自分で目標を決めて達成しよう ・自分の意思を伝えよう (挙手・カード選択)
	自立主	・指示や促しに応じて活動に参加しよう	自立主	・対象物(教材等)に手を出そう ・発声しよう	自立主	・選択しよう (タブレット・具体物に手を伸ばす・視線を向ける)
給食	知的 病弱 肢体	・適切な姿勢で食べよう ・手や口を清潔にしよう	知的 病弱 肢体	・「いただきます」「ごちそうさま」を伝えよう ・手伝ってもらったら感謝の気持ちを伝えよう	知的 病弱 肢体	・苦手な食材も食べてみよう ・自分から準備や後片付けをしよう
	自立主	・完食しよう	自立主	・食べたい気持ちを伝えよう (手を伸ばす・視線を向ける)	自立主	・味や匂いを感じよう ・苦手な食材も食べてみよう
休み時間	知的 病弱 肢体	・トイレをすませて遊ぼう ・人と適切な距離をとろう	知的 病弱 肢体	・「ありがとう」「ごめんね」「一緒にしよう」を伝えよう ・教室から出るときは行き先を伝えよう (トイレ・次の授業)	知的 病弱 肢体	・いろいろな友達や先生と関わろう ・いろいろな遊びをしよう
	自立主	・トイレに行こう ・水分補給をしよう	自立主	・遊びを選択しよう (手を伸ばす・視線を向ける) ・教員の働きかけに対して応答しよう (発声・目をばちばち・快の表情)	自立主	・遊びを選択しよう (手を伸ばす・視線を向ける) ・教員の働きかけに対して応答しよう (発声・目をばちばち・快の表情)
登下校 (朝の会・帰りの会)	知的 病弱 肢体	・朝・帰りの準備を時間までにしよう ・話をしている人の方を向こう	知的 病弱 肢体	・名前を呼ばれたら返事をしよう ・友達や先生に「おはようございます」「さようなら」を伝えよう	知的 病弱 肢体	・自分でできることを増やそう ・目標を決めたり振り返ったりしよう
	自立主	・朝の会・帰りの会で係の仕事をしよう (スイッチ)	自立主	・あいさつをしよう (発声、ハイタッチ、笑顔、アイコンタクト)	自立主	・クラス外の人とあいさつをしよう

2 令和5年度の実践研究の目的・方法

★目的

中学部全生徒の、主体的に自分の役割を果たしたり新しいことにチャレンジしたりするスキルの向上を目指す

教員のスキルアップを図る



★方法

- ① 全教員が行動目標設定表より「チャレンジしよう」に関連する項目で、指導計画立案シートを作成し、指導実践に取り組む
教員間で共通理解を図って、全生徒へ支援を行う
- ② 生徒に、チャレンジした内容と成果を具体的にフィードバックする
- ③ 研修で支援法を学んだり事例研究に取り組んだりする

3 実践研究の方法

全教員が行動目標設定表より、「チャレンジしよう」に関連する項目で指導計画立案シートを作成し、指導実践に取り組む教員間で共通理解を図って、全生徒へ支援を行う



☆指導計画立案シートを作成（9月中旬～10月上旬）

- 指導を始める前に、指導計画立案シートⅠ・Ⅱを作成した
- 作成した指導計画立案シートⅠ・Ⅱは、グループごとにファイルにまとめ、校内の共有フォルダに保存し、情報を共有できるようにした

※グループ

- 肢体不自由
 - 自立主・病弱
 - 知的障がい1年生
 - 知的障がい2年生
 - 知的障がい3年生
- の5グループ

指導計画立案シート様式Ⅰ

キャリア教育の領域と系列() R5年 月 日
行動目標設定表()

学年・生徒氏名(イニシャル): 年・ 担当教員:
指導場面:

A(環境設定や教示)
・教える手順を時系列に書く
・修正の仕方を書く 等

B(指導目標)
・2～3週間で達成できる
具体的な目標を記入する

C(結果)
・強化の仕方

○ステップ1

教材 2

☆事例検討会について (10月12日)

- (1) 個々に立てた指導計画立案シートⅠについて、指導計画チェックリストを使い、指導目標や指導の手立ての検討（チェック）を行った
- (2) 指導目標や指導の手立ての設定に悩んでいる人、指導を進めているけれど指導が順調に進まない人に、グループで支援の方法のアイディアを出し合い、事例の検討を行った
- (3) グループで話し合ったことを3分程度で全体に発表し、情報共有を図った

R5年10月12日 事例検討会 指導計画チェックリスト

①指導計画立案シートⅠを書き終えたら、A(環境設定や教示)、B(指導目標)、C(結果)を確認しましょう。

○・・・できている、できそう △・・・もう少し見直しが必要

B(指導目標)	チェック欄
・2～3週間で達成できそうな目標である。	
・目標が具体的である。	
・設定した目標に対し、記録をとることができる。	
A(環境設定や教示)	
・教える手順を時間の流れにそって書くことができている。	
・教える手順を具体的に書くことができている。	
・考えた環境設定や手順で指導をすると、目標を達成することができる。	
・生徒の実態にあった教材や、目標達成につながる教材を準備することができる。	
C(結果)	
・結果(強化の仕方)を具体的に書くことができている。	
・目標達成につながる結果を書くことができている。	

②△がついた項目については、お近くの先生、学級、グループ等で話し合うと、支援に生かせるアイデアをもらうことができます。研究課の方にもいつでもお声かけください。一緒に考えさせていただきます。

③最後に、2項目に、チェックをお願いいたします。

・本校での勤務は今年からですか? はい / いいえ

・今年、継続研修に参加していますか? はい / いいえ

R5年 月 日 事例検討会 記録用紙

学年・組: 年 組、名前(イニシャル表記):

指導教員:

後期の指導目標:

(今回の指導実践の指導目標と、後期個別の指導計画の指導目標が、リンクしている場合のみ記入)

①指導目標:

(指導目標を変更した方がいと思われる場合は、指導目標をもう一度検討しましょう。グループで出たアイデアを書きましょう。)

☆指導目標が妥当かどうか(2～3週間で達成できる目標であるかどうか)

☆指導目標が具体的かどうか

②目標達成のための支援のアイデア
(グループで出たアイデアを書きましょう。)

☆環境設定や教示の仕方

☆教材

☆強化の仕方

③備考

※必要な項目のみにご記入ください。全ての項目に記入しなくても大丈夫です。
※時間があればロールプレイもしてみてください。

学年・生徒氏名（イニシャル）： 3年 A

担当教員：B

指導場面：登校後

A（環境設定や教示）

- ・教える手順を時系列に書く
- ・修正の仕方を書く

等

B（指導目標）

- ・2～3週間で達成できる
- 具体的な目標を記入する

C（結果）

- ・強化の仕方

・登校してから朝の会までに行うことのチェックリストを作成し、本生徒の机の上に貼る。

・取り組む前日に実施に向けてチェックリストの内容について説明し、目標時間（8時55分）と朝の会までに取り組む活動の順番を一緒に確認する。次に、活動を終了したら、活動を終了した時刻をカレンダーに記入するよう伝える。

・はじめは、チェックリストを見ながら一つ一つ順番にしていくように声かけをし、取り組む順番が違ったり活動から逸れたときは声かけをする。

・時間を気にして活動を進めたり、自分からチェックリストをみて活動できるようになってきたら声かけを減らし、見守るようにする。

・本生徒が終了時刻をカレンダーに記入したら、8時55分までにできた時は「時間までにできたね」、「すばらしい」と称賛してカレンダーに○を記入し、8時55分までにできなかった時は改善点を具体的に伝える。

・○はポイントとして換算し、買い物学習の機会にお小遣いとして使用できるようにする。

朝の準備を8時55分までに終わらせることができる。

※登校後の活動

- 1 宿題を出す
- 2 提出物を出す
- 3 水筒を出す
- 4 リュックを片付ける
- 5 着替えをする
- 6 検温をする
- 7 連絡帳を書く
- 8 係の仕事をする

- ・「時間までにできたね」、「すばらしい」と称賛する。
- ・○（買い物学習で使えるポイント）をカレンダーに記入する。

アドバイザーからの助言

- チェックリストを使うには、ぴったりの生徒
- チェックリストは、色々な場面で使える。将来にも使え、役に立つ
- チェックリストを使ったセルフコントロールの機会
- 声のかけ方が重要

(何をやるかなるべく言わない。チェックリストを参照することが目的)

- チェックリストのいいところは、気がそれても意識を戻せる
- わざと先生が声をかけてチェックリストに注目させるようにしてもよい
- 行動の項目を細かく多くする方が上手くいきやすい
- ABCサイクルがたくさん回ることが多ければ多いほど頑張りやすくなる
最初は細かくすぐに終わるようなサイクルを設定する

指導計画立案シート様式Ⅱ

R5年 11月 15日

学年・生徒氏名（イニシャル）3年：A

担当教員：B

指導目標：朝の準備を8:55分までに終わらせることができる。

指導場面：登校後

【指導期間】

- ・ ベースライン 11月8日～11月10日
- ・ 指導スタート
ステップ1：12月4日～

【達成基準】

- ・ 教師の支援なしでチェックリストを見ながら、朝の準備を8:55分までに終わらせることができる。
- ・ 5回実施し、3回以上できたら達成とする。

【中止・再考の基準】

- ・ 実施5回のうち、2回以上できなかった場合、支援方法を再考する。

【記録表】

記録の取り方：・声かけなし2点、声かけあり1点、声かけありでもできない0点 ・8時55分までにできた1点、できなかった0点

ベースライン

☆朝の準備、取り組んだ順番	11月8日（水）	11月9日（木）	11月10日（金）
1 宿題を出す		2	1
2 提出物を出す	提出物なし		2
3 水筒を出す		1	3
4 リュックを片付ける		3	4
5 着替えをする		4	5
6 検温をする		5	6
7 連絡帳を書く		6	7
8 係の仕事をする		7	8

☆朝の準備、開始時間、終了時間、取り組んだ合計時間（記録できている分のみ）

	11月8日（水）	11月9日（木）	11月10日（金）
	開始時間：8時29分 終了時間：9時02分 合計：33分（トイレ5分含む）	開始時間：8時36分 終了時間：8時57分 合計：21分	開始時間：8時27分 終了時間：記録とれずだが 9時までには終わっていた
1 宿題を出す			
2 提出物を出す			
3 水筒を出す			
4 リュックを片付ける	リュックを片付け後、トイレ		
5 着替えをする	7分	7分	5分
6 検温をする			
7 連絡帳を書く	6分	6分	6分
8 係の仕事をする	6分	3分	8時43分～仕事開始

ステップ1

☆朝の準備を8時55分までに終わらせることができたかどうか	12月 4日（月）	12月 5日（火）	12月 6日（水）
※8つの活動を一人でできたかどうか記録をとる：声かけなしでできた…2点、声かけありでできた…1点、声かけありでもできなかった…0点			
※8時55分までに終わらせることができたかどうか：できた…1点、できなかった…0点			
1 宿題を出す	2	2	2
2 提出物を出す	2	2	2
3 水筒を出す	2	2	2
4 リュックを片付ける	2	2	2
5 着替えをする	2	2	2
6 検温をする	2	2	2
7 連絡帳を書く	1	2	2
8 係の仕事をする	2	2	2
開始時間	8:37	8:37	8:33
終了時間	8:56	8:55	8:54
8時55分までに終わらせることができたかどうか ※できた…1点、できなかった…0点	0	1	1
チェックリストを参照して、実行して、 チェックを付けることができたかどうか ※全項目できた…1点 ※できなかった場合は、項目の番号を書く	7連絡帳 会話多い チェクリスト指さし	1～4 チェック付け忘れ 声かけ	1

☆ベースライン

☆朝の準備、取り組んだ順番				
		11月8日（水）	11月9日（木）	11月10日（金）
1 宿題を出す		2	1	1
2 提出物を出す	提出物なし		2	2
3 水筒を出す		1	3	3
4 リュックを片付ける		3	4	4
5 着替えをする		4	5	5
6 検温をする		5	6	6
7 連絡帳を書く		6	7	7
8 係の仕事をする		7	8	8

☆朝の準備、開始時間、終了時間、取り組んだ合計時間（記録できている分のみ）

	11月8日（水） 開始時間：8時29分 終了時間：9時02分 合計：33分（トイレ5分含む）	11月9日（木） 開始時間：8時36分 終了時間：8時57分 合計：21分	11月10日（金） 開始時間：8時27分 終了時間：記録とれずだが 9時までには終わっていた
1 宿題を出す			
2 提出物を出す			
3 水筒を出す			
4 リュックを片付ける	リュックを片付け後、トイレ		
5 着替えをする	7分	7分	5分
6 検温をする			
7 連絡帳を書く	6分	6分	6分
8 係の仕事をする	6分	3分	8時43分～仕事開始

☆ステップ1

☆朝の準備を8時55分までに終わらせることができたかどうか			
※8つの活動を一人でできたかどうか記録をとる：声かけなしでできた・・・2点、声かけありでできた・・・1点、声かけありでもできなかった・・・0点			
※8時55分までに終わらせることができたかどうか：できた・・・1点、できなかった・・・0点			
	12月 4日 (月)	12月 5日 (火)	12月 6日 (水)
1 宿題を出す	2	2	2
2 提出物を出す	2	2	2
3 水筒を出す	2	2	2
4 リュックを片付ける	2	2	2
5 着替えをする	2	2	2
6 検温をする	2	2	2
7 連絡帳を書く	1	2	2
8 係の仕事をする	2	2	2
開始時間	8:37	8:37	8:33
終了時間	8:56	8:55	8:54
8時55分までに終わらせることができたかどうか ※できた・・・1点、できなかった・・・0点	0	1	1
チェックリストを参照して、実行して、 チェックを付けることができたかどうか ※全項目できた・・・1点 ※できなかった場合は、項目の番号を書く	7連絡帳 会話多い チェクリスト指さし	1～4 チェック付け忘れ 声かけ	1

指導計画立案シート様式Ⅰ

キャリア教育の領域と系列（Ⅰ健康・身体くらす①身辺処理）
行動目標設定表（肢体・自分でできることを増やそう）

学年・生徒氏名（イニシャル）： 2年 C

担当教員： D

指導場面： 登校時の靴の履き替え

A（環境設定や教示）

- ・教える手順を時系列に書く
 - ・修正の仕方を書く
- 等

B（指導目標）

- ・2～3週間で達成できる
具体的な目標を記入する

C（結果）

- ・強化の仕方

○ステップ1

- ・靴を持ち、椅子に座り、右の靴の小さい面ファスナーを外し、次に右の靴の大きい面ファスナーを外し、最後に右足の踵をあげるよう身体ガイダンスで伝える。
- ・左の靴の小さい面ファスナーを外し、次に左の靴の大きい面ファスナーを外し、最後に左足の踵をあげるよう身体ガイダンスで伝える。
- ・慣れてきたら徐々に身体ガイダンスを減らし、見守りに移行する。
- ・全ての面ファスナーを外し、かかとをあげる事ができたら称賛する。
- ・20秒間動きが止まっている時は、身体ガイダンスで動作を促す。
- ・動きが止まっている時は、身体ガイダンスで、面ファスナーを外したり、踵をあげるよう促す。

教師の支援なしで
靴の面ファスナーを外し
かかたとをあげるができる。

- ・「まる」「オッケー」と称賛する。

指導計画立案シート様式Ⅰ

キャリア教育の領域と系列（Ⅰ健康・身体くらす①身辺処理）
行動目標設定表（肢体・自分でできることを増やそう）

学年・生徒氏名（イニシャル）： 2年 C

担当教員： D

指導場面： 登校時の靴の履き替え

A（環境設定や教示）

- ・教える手順を時系列に書く
 - ・修正の仕方を書く
- 等

B（指導目標）

- ・2～3週間で達成できる具体的な目標を記入する

C（結果）

- ・強化の仕方

○ステップ1

- ・靴を履き替える場所を教室前にし、椅子を用意する。
- ・本生徒が椅子に座ったら、上靴を本生徒の足の前に置く。
- ・右の靴の小さい面ファスナーを外し、次に右の靴の大きい面ファスナーを外し、最後に右足の踵をあげるよう身体ガイダンスで促す。
- ・左の靴の小さい面ファスナーを外し、次に左の靴の大きい面ファスナーを外し、最後に左足の踵をあげるよう身体ガイダンスで促す。
- ・慣れてきたら徐々に身体ガイダンスを減らし、見守りに移行する。
- ・全ての面ファスナーを外し、かかとをあげることができたら「早くできたね」と称賛する。
- ・10秒間動きが止まっている時は、身体ガイダンスで動作を促す。

登校時、靴（左右）の面ファスナーを外し、かかとをあげる動作（11項目）が、各項目、10秒以内に支援なしでできる。

- ・「早くできたね」と称賛する。

指導計画立案シート様式II

R5年 11月 22日

学年・生徒氏名（イニシャル）： 2年 C

担当教員： D

指導目標：登校時、靴（左右）の面ファスナーを外し、かかとをあげる動作（11項目）が、各項目、10秒以内に支援なしでできる。

指導場面： 登校時の靴の履き替え

【指導期間】

【達成基準】

【中止・再考の基準】

- ・ ベースライン
10月8日～10月18日
- ・ 指導スタート
ステップ1：11月24日～

登校時、靴（左右）の面ファスナーを外し、かかとをあげる動作（11項目）が、各項目、10秒以内に支援なしで5回連続でできたら達成とする。

登校時、靴（左右）の面ファスナーを外し、かかとをあげる動作（11項目）が、1項目でも、10秒以内に支援なしで5回連続できなかつたら再考する。

【記録表】

記録の取り方：1人でできた→○、身体ガイダンスあり→ガ、ガイダンスありでもできない→×

項目	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
① 左の面ファスナーを外す	○	○	○	○	○
② 右の面ファスナーを外す	○	○	○	○	○
③ 左のかかとをあげる	○	○	○	○	○
④ 右のかかとをあげる	○	○	○	○	○
⑤ 左の面ファスナーを外す	○	○	○	○	○
⑥ 右の面ファスナーを外す	○	○	○	○	○
⑦ 左のかかとをあげる	○	○	○	○	○
⑧ 右のかかとをあげる	○	○	○	○	○
⑨ 左の面ファスナーを外す	○	○	○	○	○
⑩ 右の面ファスナーを外す	○	○	○	○	○
⑪ 左のかかとをあげる	○	○	○	○	○

2点・・・一人でできた、1点・・・身体ガイダンスありでできた、0点・・・身体ガイダンスありでもできなかった

※10秒経っても、行動が生起しない時は、身体ガイダンスをする

☆ベースライン

	10月8日(日) 放課後	10月11日(水) 朝	10月12日(木) 朝	10月16日(月) 朝	10月18日(水) 朝
①ベンチに座る	2	2	2	2	2
②靴の小さい面テープを右手に持つ	1	1	2	2	2
③靴の小さい面テープを右手で外す	2	2	2	1	2
④靴の大きい面テープを右手で持つ	2	2	2	2	2
⑤靴の大きい面テープを右手で外す	2	2	2	2	2
⑥右足のかかとを上げる	2	2	2	2	2
⑦靴の小さい面テープを左手に持つ	1	1	1	1	1
⑧靴の小さい面テープを左手で外す	2	2	2	2	2
⑨靴の大きい面テープを左手に持つ	2	2	2	2	2
⑩靴の大きい面テープを左手で外す	2	2	2	2	2
⑪左足のかかとを上げる	2	2	2	2	1
備考			人が少ない	③の途中で話し かけられた	人が少ない

2点・・・一人でできた、1点・・・身体ガイダンスありでできた、0点・・・身体ガイダンスありでもできなかった
 ※10秒経っても、行動が生起しない時は、身体ガイダンスをする

☆ステップ1

	11月24日(金)	11月28日(火)	11月29日(水)	11月30日(木)	12月1日(金)
①ベンチに座る	1	1	2	2	2
②靴の小さい面テープを右手に持つ	2	2	2	2	2
③靴の小さい面テープを右手で外す	2	2	2	2	2
④靴の大きい面テープを右手で持つ	2	2	2	2	2
⑤靴の大きい面テープを右手で外す	2	2	2	2	2
⑥右足のかかとを上げる	2	2	2	2	2
⑦靴の小さい面テープを左手に持つ	2(8秒)	2(5秒)	2(10秒)	2(0秒)	1
⑧靴の小さい面テープを左手で外す	2	2	2	2	2
⑨靴の大きい面テープを左手に持つ	2	2	2	2	2
⑩靴の大きい面テープを左手で外す	2	2	2	2	2
⑪左足のかかとを上げる	2	2	2	2	2
備考			中ホールに人がいて気にしていた。	⑧の時、教室から先生が出てきたが見ながら動作ができた	中ホールに生徒がいて気にしていた。

4 まとめ

- ・全教員が行動目標設定表より「チャレンジしよう」に関連する項目で、指導計画立案シートを作成し、指導実践に取り組む



- ・個々に「チャレンジしよう」に関連する項目で、指導計画立案シートを作成し、**指導実践に取り組む**ことができた
- ・32の指導実践のうち、21の指導実践で目標達成となった

- ・教員間で共通理解を図って、全生徒へ支援を行う



事例検討会、グループ別事例検討会、学部事例報告会で、個々の指導実践を検討したり進捗状況を確認したりして、**教員間で共通理解**を図って**生徒の支援体制を構築**することができた

4 まとめ

指導実践に取り組む
教員間で共通理解
生徒の支援体制を構築



**学部全体での
ポジティブ行動支援
(SWPBS)**

- ・支援法を学ぶ
 - ・事例研究に取り組む
- 教員のスキルアップにつながる研究**